

平成22年度 函館市病院事業の経営実績について

平成23年 6 月
函館市病院局

目 次

I. 平成22年度の経営状況

22年度当初に掲げた各目標値に対する実績を記載しています。

1 患者数等	1 ページ
2 収支状況	2～5 ページ
3 主な経営指標	6～7 ページ

II. 改革プランに基づく取組状況

22年度における収入確保, 経費削減の主な取り組み実績を記載しています。

1 患者数の確保	8～9 ページ
2 医業収益の確保	10～11 ページ
3 材料費の削減	12 ページ
4 未収金の縮減	13 ページ

III. 改革プラン収支計画との比較

改革プラン収支計画の22年度計画と実績の比較を記載しています。

1 平成22年度収支計画と実績の比較	14～16 ページ
2 累積不良債務の解消	17 ページ

I. 平成22年度の経営状況

1 患者数等

① 函館病院

入院患者数は、一般で1日平均485人の目標に対し6.9人上回り491.9人、新規入院患者数は、21年度の10,604人に対して371人増加し10,975人、年間平均在院日数は、21年度の15.2日に対し15.3日となっています。また、精神は76人の目標に対し8.5人下回り67.5人となっています。外来患者数は、一般で1日平均1,075人の目標に対し57.9人上回り1,132.9人、精神は86人の目標に対し0.9人下回り85.1人となっています。病床利用率は、一般で21年度の74.6%に対し3.0%上回り77.6%、そのうち一般病床(598床)では3.6%上回り81.9%となっています。手術件数は、1か月平均250件の目標に対し7.2件上回り257.2件となっています。

区分	H22目標値A	H22実績B	差引B-A
入院患者数(一般)	485.0 人/日	491.9 人/日	6.9 人/日
新規入院患者数	(H21実績 10,604人)	10,975 人	371 人
年間平均在院日数	(H21実績 15.2日)	15.3 日	0.1 日
入院患者数(精神)	76.0 人/日	67.5 人/日	△ 8.5 人/日
外来患者数(一般)	1,075.0 人/日	1,132.9 人/日	57.9 人/日
" (精神)	86.0 人/日	85.1 人/日	△ 0.9 人/日
病床利用率(一般634床)	(H21実績 74.6%)	77.6 %	3.0 %
うち一般病床(598床)	(H21実績 78.3%)	81.9 %	3.6 %
うち結核病床(30床)	(H21実績 15.1%)	6.5 %	△ 8.6 %
うち感染症病床(6床)	(H21実績 0.6%)	0.0 %	△ 0.6 %
手術件数	250.0 件/月	257.2 件/月	7.2 件/月

※函館病院病床数 [一般634床(一般病床598, 結核病床30, 感染症病床6), 精神100床]

② 恵山病院

入院患者数は、療養で1日平均57人の目標に対し3.4人下回り53.6人となっています。外来患者数は、一般で1日平均92人の目標に対し6.4人下回り85.6人となっています。病床利用率は、21年度の96.1%に対し6.7%下回り89.4%となっています。

区分	H22目標値A	H22実績B	差引B-A
入院患者数(療養)	57.0 人/日	53.6 人/日	△ 3.4 人/日
外来患者数(一般)	92.0 人/日	85.6 人/日	△ 6.4 人/日
病床利用率(療養60床)	(H21実績 96.1%)	89.4 %	△ 6.7 %

※恵山病院病床数 [療養60床]

③ 南茅部病院

入院患者数は、一般で1日平均37人の目標に対し5.4人下回り31.6人となっています。外来患者数は、一般で1日平均122人の目標に対し2.6人下回り119.4人となっています。病床利用率は、21年度の99.5%に対し14.2%下回り85.3%となっています。

区分	H22目標値A	H22実績B	差引B-A
入院患者数(一般)	37.0 人/日	31.6 人/日	△ 5.4 人/日
外来患者数(一般)	122.0 人/日	119.4 人/日	△ 2.6 人/日
病床利用率(一般37床)	(H21実績 99.5%)	85.3 %	△ 14.2 %

※南茅部病院病床数 [一般37床, 療養22床(休床)]

2 収支状況

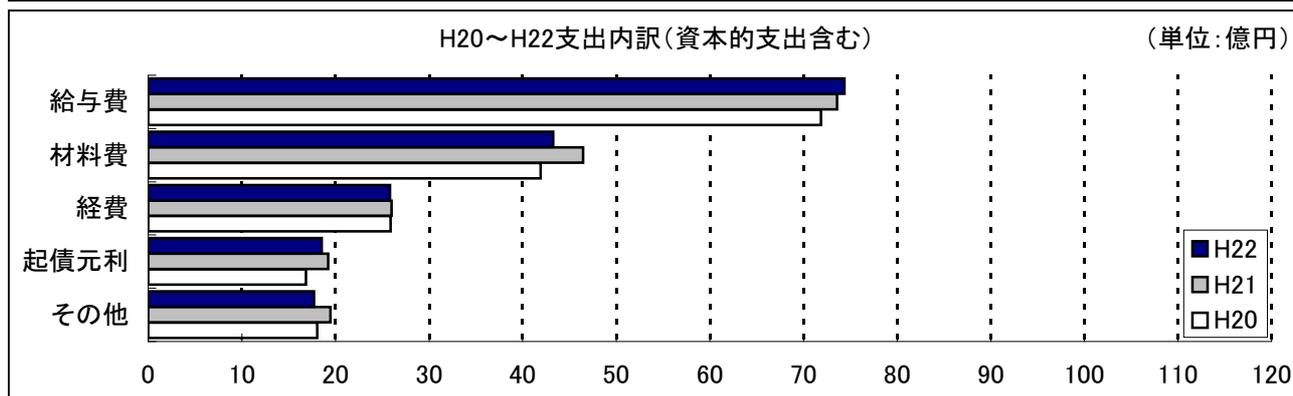
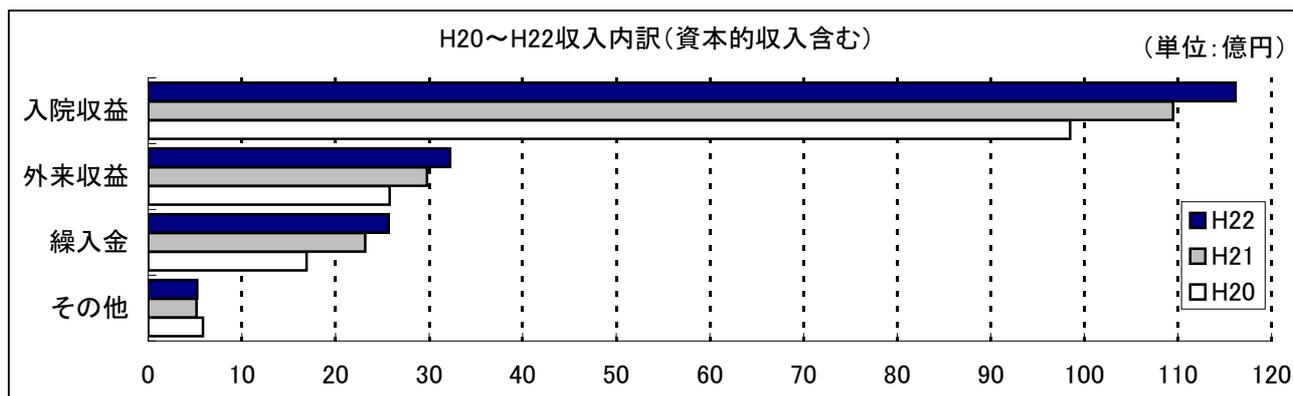
① 函館病院

平成22年度の実績(決算見込)は、当年度財源過不足額が14億366万5千円の黒字となり、対前年比では16億5,358万7千円の改善となっています。当初予算に対しては12億5,861万4千円のプラスとなっています。

なお、H22決算見込の収入および支出の内訳は以下のとおりとなっています。

(単位:千円)

科目			H21実績A	H22決算見込B	差引B-A	H22当初予算C	差引B-C
収益	医業収益	入院収益	10,946,318	11,613,821	667,503	11,564,144	49,677
		外来収益	2,976,757	3,224,701	247,944	3,131,921	92,780
		その他	202,304	209,451	7,147	221,331	△ 11,880
	医業外収益ほか		1,605,980	2,021,045	415,065	1,724,542	296,503
	計		15,731,359	17,069,018	1,337,659	16,641,938	427,080
費用	医業費用	給与費	7,357,887	7,436,957	79,070	7,712,765	△ 275,808
		材料費	4,646,570	4,325,655	△ 320,915	4,778,167	△ 452,512
		経費	2,597,955	2,580,940	△ 17,015	2,596,042	△ 15,102
		その他	1,424,672	1,380,776	△ 43,896	1,419,132	△ 38,356
	医業外費用ほか		804,513	805,133	620	830,362	△ 25,229
計		16,831,597	16,529,461	△ 302,136	17,336,468	△ 807,007	
収益－費用			△ 1,100,238	539,557	1,639,795	△ 694,530	1,234,087
資本的収入			1,026,025	861,876	△ 164,149	854,134	7,742
資本的支出			1,641,567	1,437,903	△ 203,664	1,441,124	△ 3,221
資本的収支差引			△ 615,542	△ 576,027	39,515	△ 586,990	10,963
損益勘定留保資金			1,465,858	1,440,135	△ 25,723	1,426,571	13,564
当年度財源過不足額			△ 249,922	1,403,665	1,653,587	145,051	1,258,614
一般会計繰入金			2,317,786	2,569,282	251,496		

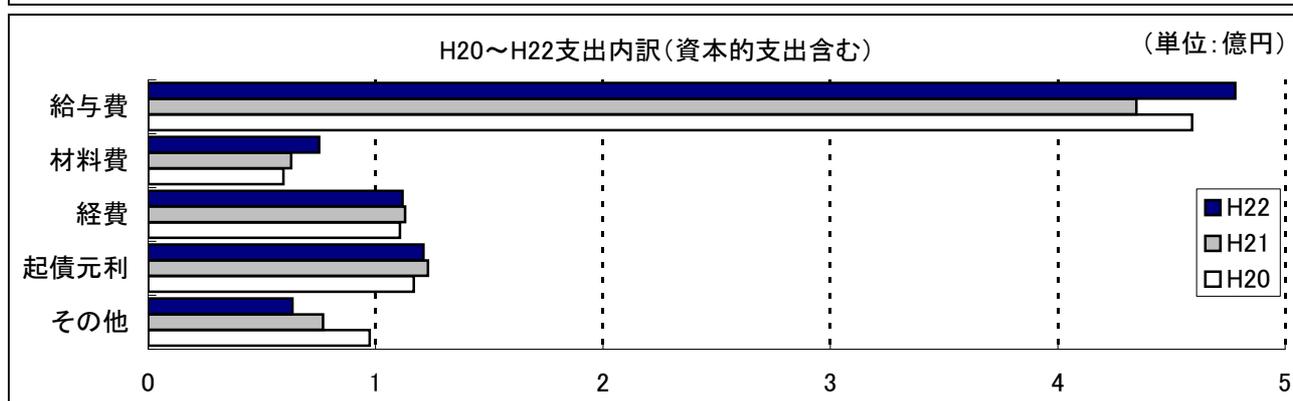
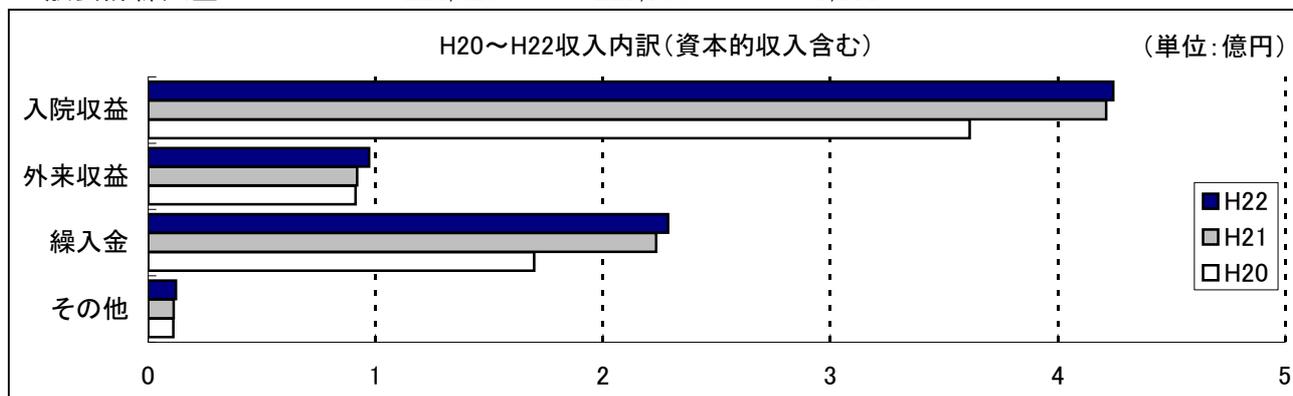


② 恵山病院

平成22年度の実績(決算見込)は、当年度財源過不足額が2,632万5千円の赤字となり、対前年比では3,748万9千円のマイナスとなっています。当初予算に対しては2,528万8千円のプラスとなっています。なお、H22決算見込の収入および支出の内訳は以下のとおりとなっています。

(単位:千円)

科目		H21実績A	H22決算見込B	差引B-A	H22当初予算C	差引B-C
収益	医業収益					
	入院収益	421,262	424,449	3,187	417,770	6,679
	外来収益	91,877	97,110	5,233	104,970	△ 7,860
	その他	10,477	11,161	684	8,611	2,550
	医業外収益ほか	150,266	156,488	6,222	155,804	684
	計	673,882	689,208	15,326	687,155	2,053
費用	医業費用					
	給与費	434,657	478,057	43,400	486,397	△ 8,340
	材料費	62,830	75,213	12,383	68,303	6,910
	経費	112,988	111,884	△ 1,104	130,274	△ 18,390
	その他	72,051	58,229	△ 13,822	59,405	△ 1,176
	医業外費用ほか	19,156	18,960	△ 196	21,307	△ 2,347
	計	701,682	742,343	40,661	765,686	△ 23,343
収益－費用		△ 27,800	△ 53,135	△ 25,335	△ 78,531	25,396
資本的収入		73,883	73,233	△ 650	73,234	△ 1
資本的支出		108,769	107,192	△ 1,577	107,192	0
資本的収支差引		△ 34,886	△ 33,959	927	△ 33,958	△ 1
損益勘定留保資金		73,850	60,769	△ 13,081	60,876	△ 107
当年度財源過不足額		11,164	△ 26,325	△ 37,489	△ 51,613	25,288
一般会計繰入金		223,424	228,677	5,253		

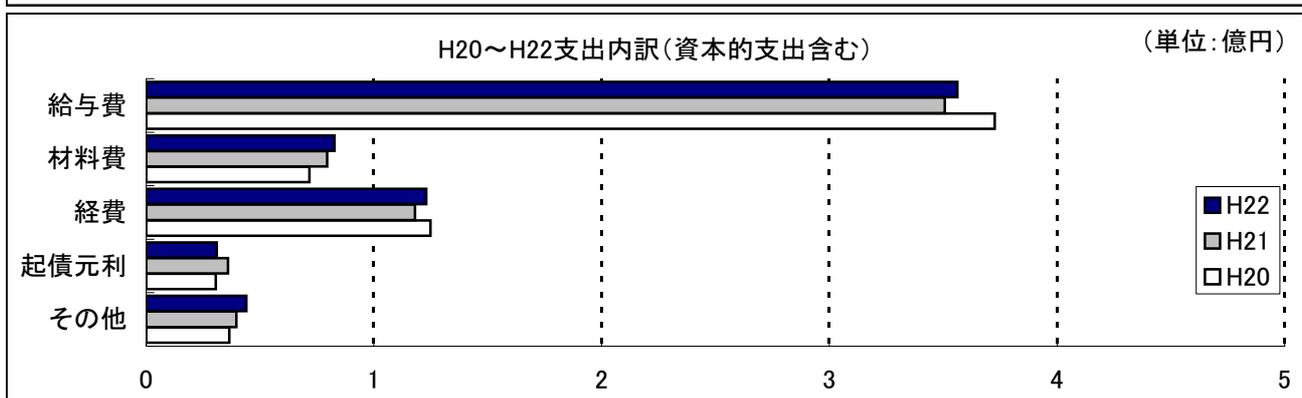
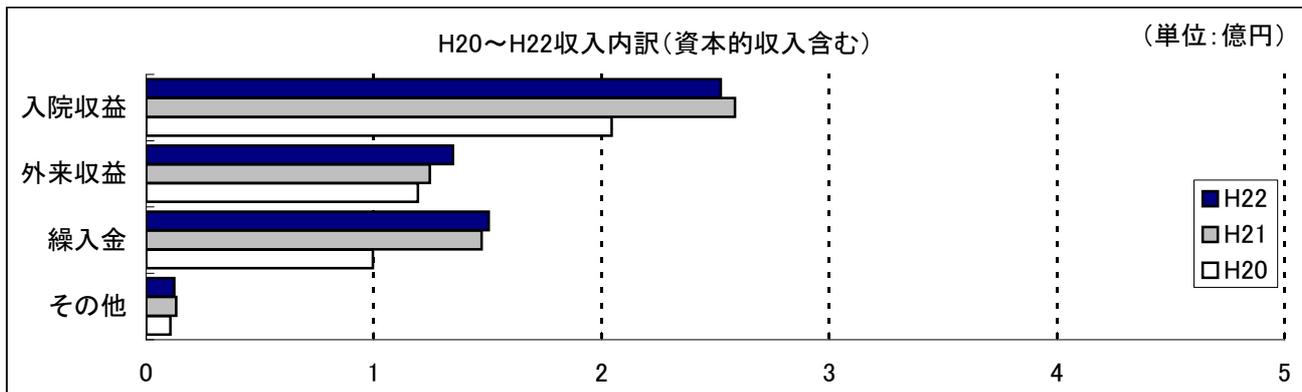


③ 南茅部病院

平成22年度の実績(決算見込)は、当年度財源過不足額が6,345万円6千円の赤字となり、対前年比では1,865万7千円のマイナスとなっています。当初予算に対しては1,763万7千円のプラスとなっています。なお、H22決算見込の収入および支出の内訳は以下のとおりとなっています。

(単位:千円)

科目		H21実績A	H22決算見込B	差引B-A	H22当初予算C	差引B-C
収益	医業収益					
	入院収益	258,597	252,298	△ 6,299	252,854	△ 556
	外来収益	124,550	134,667	10,117	120,748	13,919
	その他	10,746	10,146	△ 600	9,076	1,070
	医業外収益ほか	134,958	140,694	5,736	140,764	△ 70
	計	528,851	537,805	8,954	523,442	14,363
費用	医業費用					
	給与費	350,783	356,212	5,429	365,313	△ 9,101
	材料費	79,471	82,731	3,260	82,776	△ 45
	経費	118,003	123,013	5,010	130,015	△ 7,002
	その他	37,320	25,656	△ 11,664	26,224	△ 568
	医業外費用ほか	13,564	29,673	16,109	16,351	13,322
	計	599,141	617,285	18,144	620,679	△ 3,394
収益－費用		△ 70,290	△ 79,480	△ 9,190	△ 97,237	17,757
資本的収入		14,759	11,817	△ 2,942	11,817	0
資本的支出		24,598	19,632	△ 4,966	19,632	0
資本的収支差引		△ 9,839	△ 7,815	2,024	△ 7,815	0
損益勘定留保資金		35,330	23,839	△ 11,491	23,959	△ 120
当年度財源過不足額		△ 44,799	△ 63,456	△ 18,657	△ 81,093	17,637
一般会計繰入金		147,357	150,352	2,995		



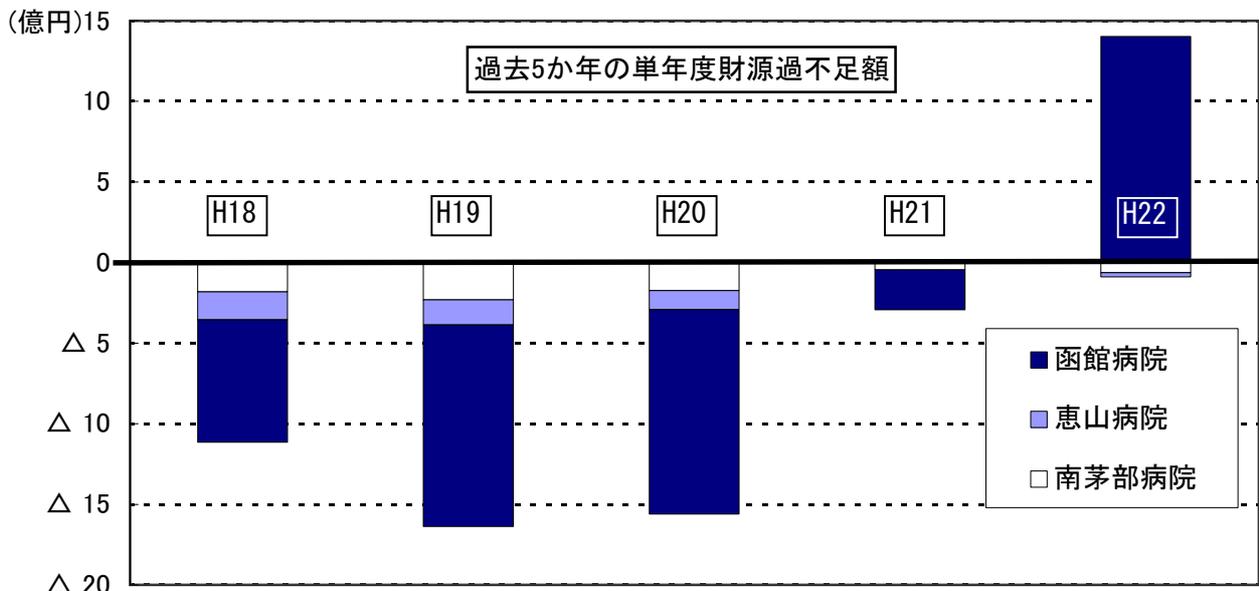
④ 3病院合計

3病院を合計した病院事業全体では、22年度、当年度財源過不足額が13億1,388万4千円の黒字となり、対前年比では15億9,744万1千円の改善となっています。当初予算に対しては13億153万9千円のプラスとなっています。

なお、参考として、過去5か年の単年度財源過不足額の推移を記載しています。

(単位:千円)

科目		H21実績A	H22決算見込B	差引B-A	H22当初予算C	差引B-C
収益	医業収益					
	入院収益	11,626,177	12,290,568	664,391	12,234,768	55,800
	外来収益	3,193,184	3,456,478	263,294	3,357,639	98,839
	その他	223,527	230,758	7,231	239,018	△ 8,260
	医業外収益ほか	1,891,204	2,318,227	427,023	2,021,110	297,117
計	16,934,092	18,296,031	1,361,939	17,852,535	443,496	
費用	医業費用					
	給与費	8,143,327	8,271,226	127,899	8,564,475	△ 293,249
	材料費	4,788,871	4,483,599	△ 305,272	4,929,246	△ 445,647
	経費	2,828,946	2,815,837	△ 13,109	2,856,331	△ 40,494
	その他	1,534,043	1,464,661	△ 69,382	1,504,761	△ 40,100
医業外費用ほか	837,233	853,766	16,533	868,020	△ 14,254	
計	18,132,420	17,889,089	△ 243,331	18,722,833	△ 833,744	
収益－費用	△ 1,198,328	406,942	1,605,270	△ 870,298	1,277,240	
資本的収入	1,114,667	946,926	△ 167,741	939,185	7,741	
資本的支出	1,774,934	1,564,727	△ 210,207	1,567,948	△ 3,221	
資本的収支差引	△ 660,267	△ 617,801	42,466	△ 628,763	10,962	
損益勘定留保資金	1,575,038	1,524,743	△ 50,295	1,511,406	13,337	
当年度財源過不足額	△ 283,557	1,313,884	1,597,441	12,345	1,301,539	
一般会計繰入金	2,688,567	2,948,311	259,744			



(単位:千円)

区分	H18	H19	H20	H21	H22
函館病院	△ 759,491	△ 1,251,906	△ 1,269,654	△ 249,922	1,403,665
恵山病院	△ 175,633	△ 157,667	△ 118,933	11,164	△ 26,325
南茅部病院	△ 180,862	△ 230,227	△ 173,193	△ 44,799	△ 63,456
3病院合計	△ 1,115,986	△ 1,639,800	△ 1,561,780	△ 283,557	1,313,884

3 主な経営指標

① 函館病院

【改革プランに掲げた目標とH22実績】

- ① 経常収支比率: H27までに100%以上→H22実績102.1%
- ② 職員給与費比率: H21以降50%以下→H22実績44.0%
- ③ 病床利用率(一般): H24以降85%以上→H22実績81.9%

(単位: %)

区分	経常収支比率	医業収支比率	職員給与費対医業収益比率	材料費対医業収益比率	うち薬品費対医業収益比率	病床利用率		
						計	うち一般	うち療養
H18	86.0	84.8	48.5	32.1	16.6	75.0	84.1	—
H19	86.4	84.9	51.9	31.0	15.4	71.9	81.5	—
H20	86.2	84.6	52.1	31.2	13.9	71.8	73.6	—
H21	93.9	91.8	46.9	30.7	13.7	73.5	78.3	—
(H22計画値)	(99.1)	(96.2)	(46.0)	(26.8)	(12.0)	(74.6)	(80.7)	—
H22実績	102.1	99.4	44.0	26.9	11.7	76.2	81.9	—

以下 平成20年度全国平均(500床以上の病院)

民間病院	99.4	100.0	47.7	27.7	15.6	83.4	—	—
公的病院 (自治体以外)	96.3	96.6	51.0	31.3	19.5	77.9	—	—
公立病院 (黒字)	102.1	95.9	47.9	30.9	16.4	86.2	87.3	—
公立病院 (上位1/2)	100.3	93.7	49.2	29.6	15.0	85.5	86.8	—
公立病院 (全体)	97.8	92.4	50.1	28.7	14.2	83.9	85.4	51.0

※ 各指標の算式(消費税抜き)

1. 経常収支比率

$$\text{経常収益(医業収益+医業外収益)} \div \text{経常費用(医業費用+医業外費用)} \times 100$$

2. 医業収支比率

$$\text{医業収益} \div \text{医業費用} \times 100$$

3. 職員給与費対医業収益比率

$$\text{職員給与費} \div \text{医業収益} \times 100$$

4. 材料費対医業収益比率

$$\text{材料費} \div \text{医業収益} \times 100$$

5. 薬品費対医業収益比率

$$\text{薬品費} \div \text{医業収益} \times 100$$

② 恵山病院

【改革プランに掲げた目標とH22実績】

- ①経常収支比率：H23までに100%以上→H22実績92.9%
- ②職員給与費比率：H23以降80%以下→H22実績76.8%
- ③病床利用率(療養)：H21以降95%以上→H22実績89.4%

(単位：%)

区分	経常収支比率	医業収支比率	職員給与費対医業収支比率	材料費対医業収益比率	うち薬品費対医業収益比率	病床利用率		
						計	うち一般	うち療養
H18	66.8	56.8	102.3	14.5	9.6	84.0	74.7	90.1
H19	70.0	59.6	93.6	13.8	7.6	85.3	78.0	90.0
H20	76.0	65.8	89.9	12.1	5.9	90.4	89.6	90.4
H21	96.1	80.2	72.3	11.1	5.1	96.1	—	96.1
(H22計画値)	(90.4)	(74.9)	(78.6)	(12.0)	(5.5)	(90.5)	—	(90.5)
H22実績	92.9	77.0	76.8	13.0	6.2	89.4	—	89.4

以下 平成20年度全国平均(50床以上100床未満の病院)

公立病院(黒字)	102.8	85.3	62.0	22.6	15.7	74.7	72.9	77.1
公立病院(上位1/2)	101.8	84.4	63.2	22.5	15.5	73.9	72.7	77.5
公立病院(全体)	96.3	81.9	64.6	21.9	15.0	71.0	69.5	76.4

③ 南茅部病院

【改革プランに掲げた目標とH22実績】

- ①経常収支比率：H21までに100%以上→H22実績89.5%
- ②職員給与費比率：H21以降80%以下→H22実績70.2%
- ③病床利用率(一般)：H21以降94%以上→H22実績85.3%

(単位：%)

区分	経常収支比率	医業収支比率	職員給与費対医業収支比率	材料費対医業収益比率	うち薬品費対医業収益比率	病床利用率		
						計	うち一般	うち療養
H18	76.4	69.7	58.1	49.6	44.2	77.9	81.3	72.1
H19	72.3	64.4	68.5	49.0	43.5	68.2	91.3	29.2
H20	68.5	56.9	91.4	20.4	11.7	59.3	91.3	5.4
H21	88.3	71.2	70.1	18.5	11.4	62.4	99.5	休床
(H22計画値)	(85.5)	(67.7)	(75.5)	(18.5)	(11.4)	(50.4)	(80.3)	休床
H22実績	89.5	71.6	70.2	19.1	12.1	53.5	85.3	休床

以下 平成20年度全国平均(50床未満の病院)

公立病院(黒字)	102.1	78.5	72.6	21.3	14.9	74.9	75.3	73.9
公立病院(上位1/2)	101.1	78.2	67.0	24.4	17.9	74.0	72.2	78.4
公立病院(全体)	96.6	78.4	67.5	25.1	18.9	73.8	72.6	76.1

Ⅱ. 改革プランに基づく取組状況

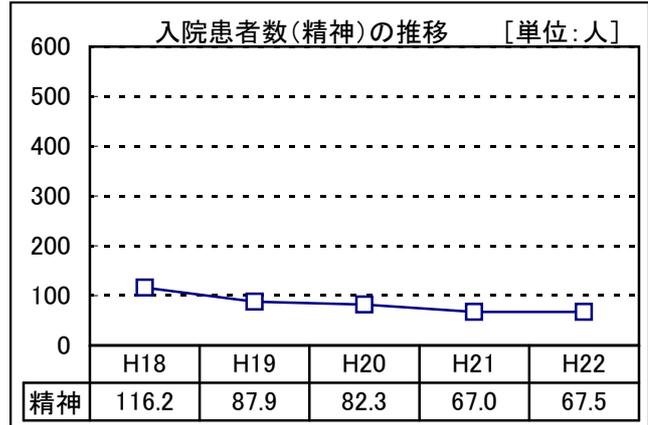
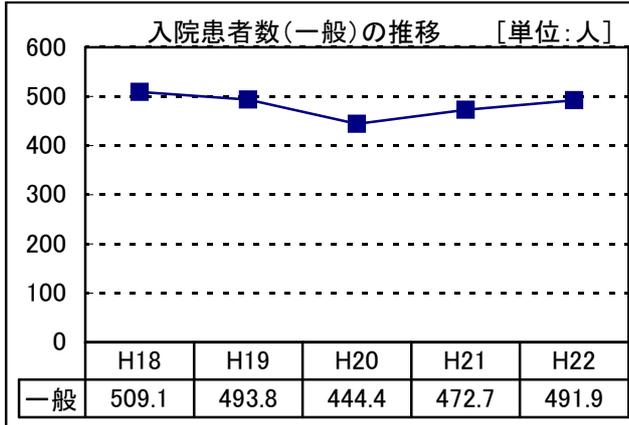
1 患者数の確保

① 函館病院

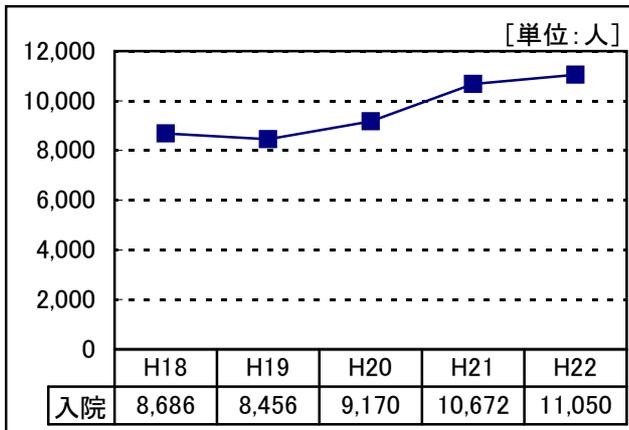
22年度の1日平均入院患者数は、一般491.9人で21年度472.7人に対し19.2人の増、精神67.5人で21年度67人に対し0.5人の増となっています。また、新規入院患者数は一般と精神を合わせて11,050人で21年度10,672人に対し378人の増、一般の年間平均在院日数は15.3日で21年度15.2日から0.1日の増となっています。

外来患者数は、1日平均、一般1,132.9人で21年度1,102.6人に対し30.3人の増、精神は85.1人で21年度79.6人に対し5.5人の増となっています。

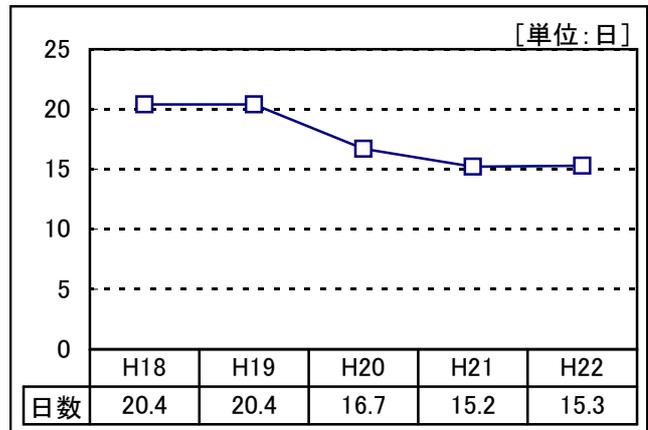
□ 入院患者数(1日平均)



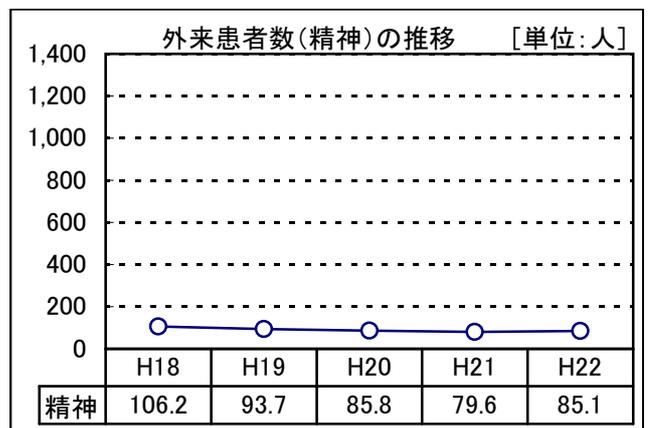
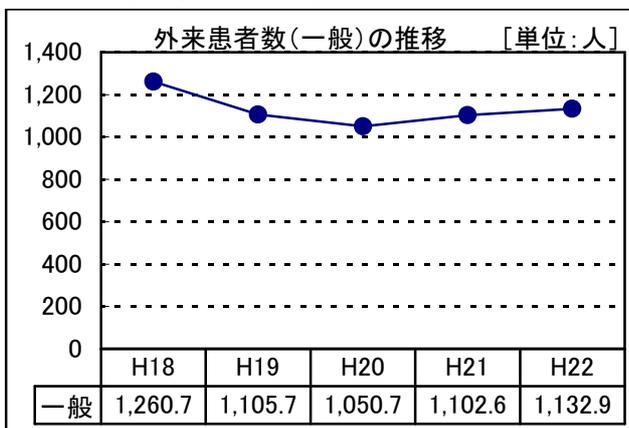
・ 新規入院患者数



・ 年間平均在院日数(一般)



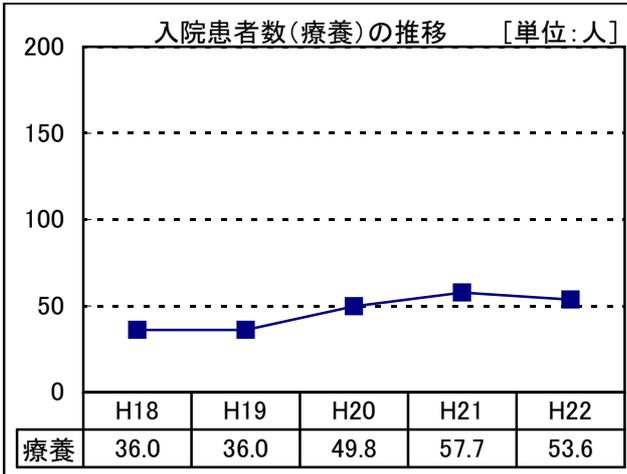
□ 外来患者数(1日平均)



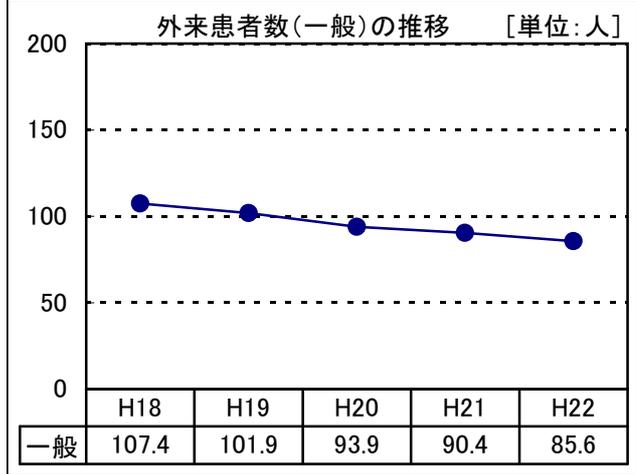
② 恵山病院

恵山病院は、20年7月に一般病床26床と療養病床40床の計66床を療養病床60床とする一病棟化を行い、経営の効率化に努めてきています。22年度の1日平均入院患者数は53.6人で21年度57.7人に対し4.1人の減、外来患者数は、1日平均85.6人で21年度90.4人に対し4.8人の減となっています。

□ 入院患者数(1日平均)



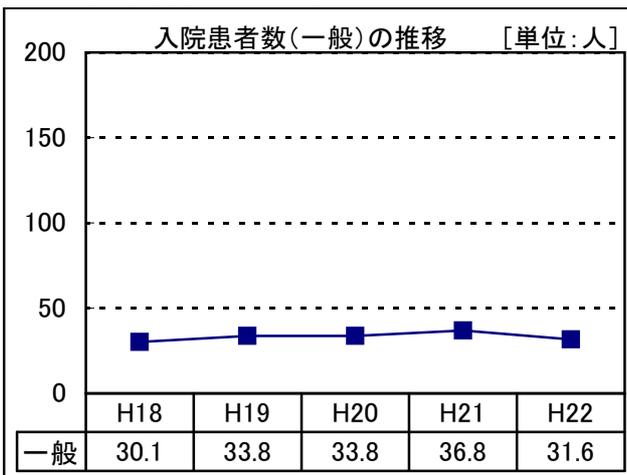
□ 外来患者数(1日平均)



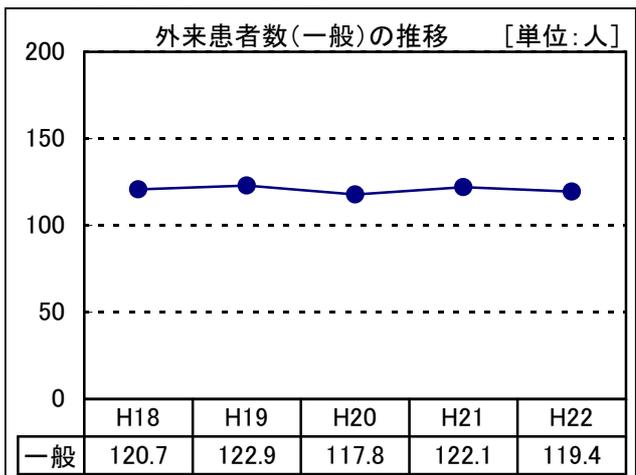
③ 南茅部病院

南茅部病院は、20年7月に一般病床37床と療養病床22床の計59床のうち療養病床の運用を休止し、一般病床37床とする一病棟化を行い、経営の効率化に努めてきています。22年度の1日平均入院患者数は31.6人で21年度36.8人に対し5.2人の減、外来患者数は、1日平均119.4人で21年度122.1人に対し2.7人の減となっています。

□ 入院患者数(1日平均)



□ 外来患者数(1日平均)



2 医業収益の確保

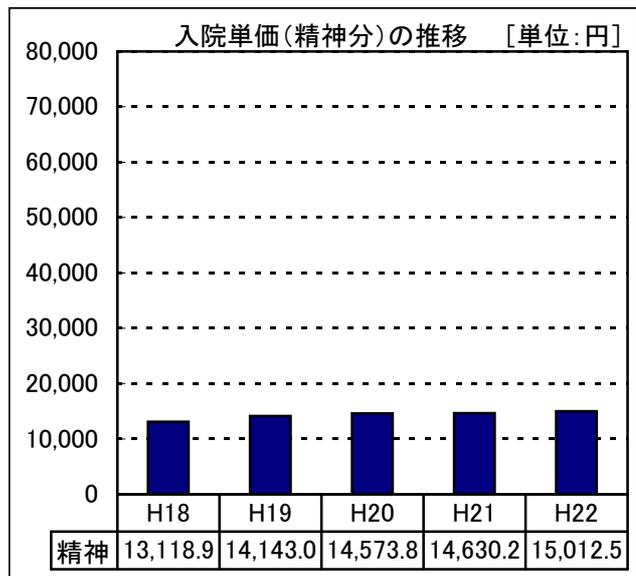
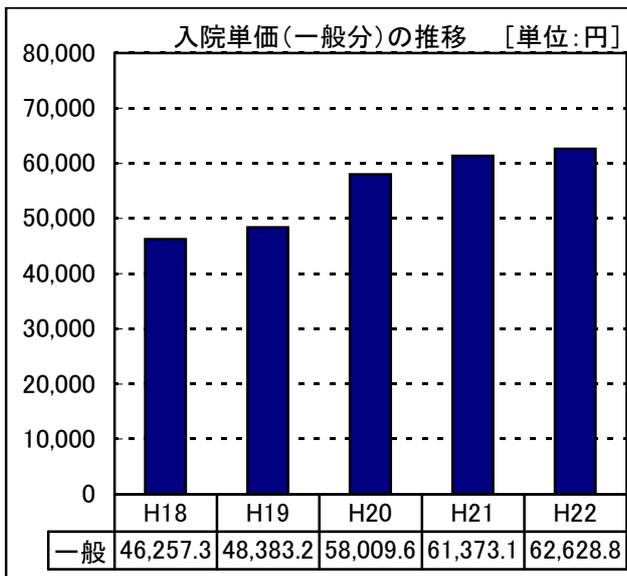
① 函館病院

22年度の診療報酬改定は全体改定率+0.19%で10年ぶりのプラス改定となり、救急・産科・小児・外科等の医療の再建、病院勤務医の負担軽減等が改定の重点課題として位置づけられ、函館病院においては、救急医療の充実、高度・専門的な手術、看護補助者や医療クラークの配置、チーム医療の取り組みなどが、診療報酬上評価されました。

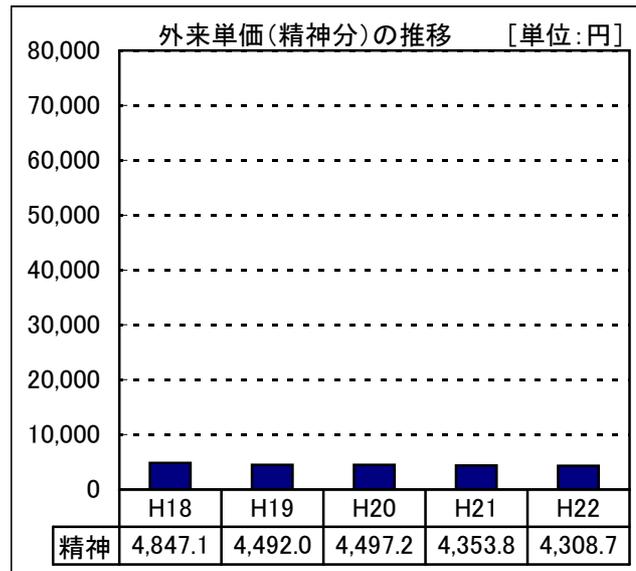
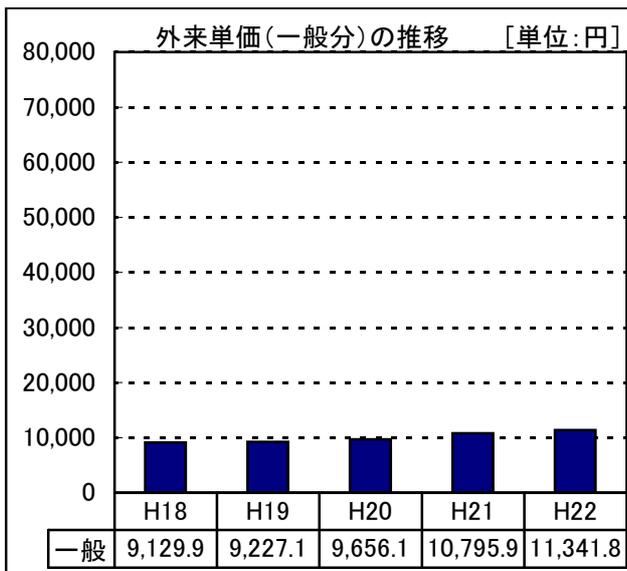
22年度の入院患者1人あたり診療単価は、一般で62,628.8円で21年度61,373.1円に対し1,255.7円の増、精神は15,012.5円で21年度14,630.2円に対し382.3円の増となっています。

外来患者1人あたり診療単価は、一般で11,341.8円で21年度10,795.9円に対し545.9円の増、精神は4,308.7円で21年度4,353.8円に対し45.1円の減となっています。

□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価

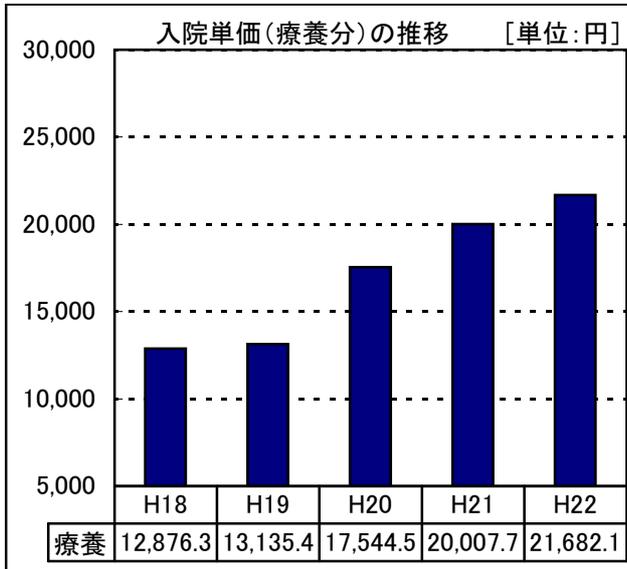


② 恵山病院

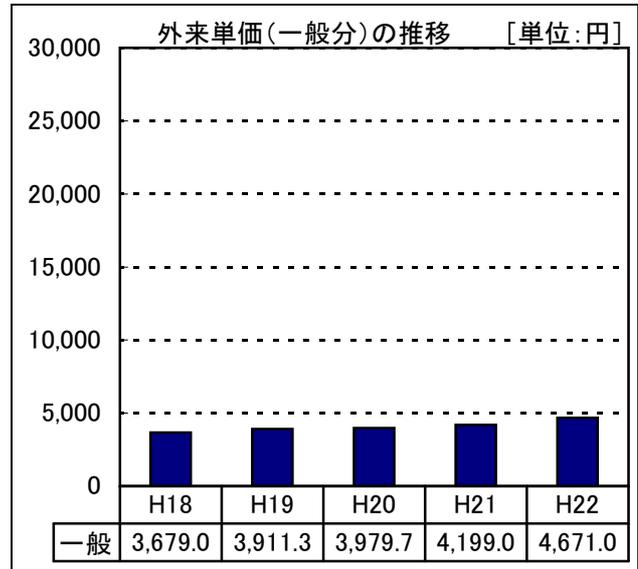
22年度の診療報酬改定で療養病棟の評価に係る見直しが行われ、恵山病院では重症者割合と看護体制の充実により、22年10月から療養病棟入院基本料1を取得しています。

22年度の入院患者1人あたり診療単価は、療養で21,682.1円で21年度20,007.7円に対し1,674.4円の増、外来患者1人あたり診療単価は、4,671.0円で21年度4,199.0円に対し472.0円の増となっています。

□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価

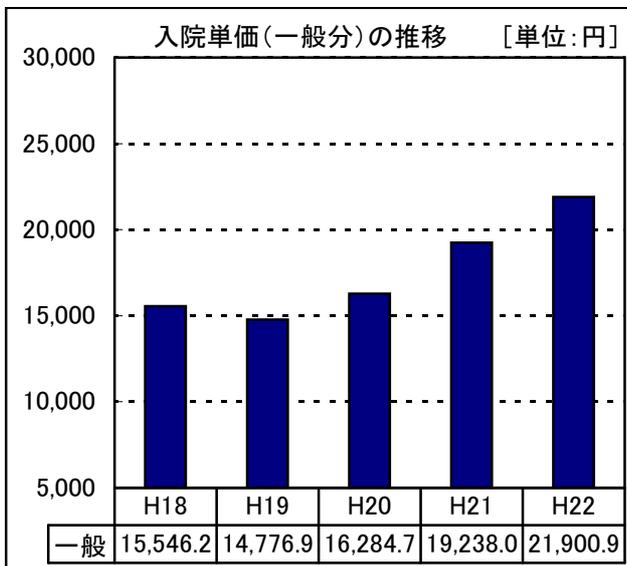


③ 南茅部病院

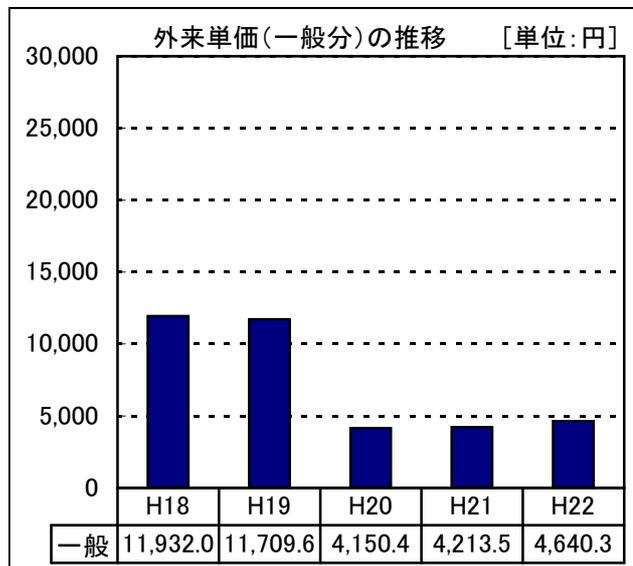
南茅部病院では、入院単価の改善を図るため平均在院日数の短縮に努め、21年度29.5日を22年度は20.8日まで短縮しています。また、あわせて看護体制の充実を図ってきており23年5月にはこれまでの15対1基準から13対1看護配置基準を取得しています。

22年度の入院患者1人あたり診療単価は、一般で21,900.9円で21年度19,238.0円に対し2,662.9円の増、外来患者1人あたり診療単価は、4,640.3円で21年度4,213.5円に対し426.8円の増となっています。

□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価

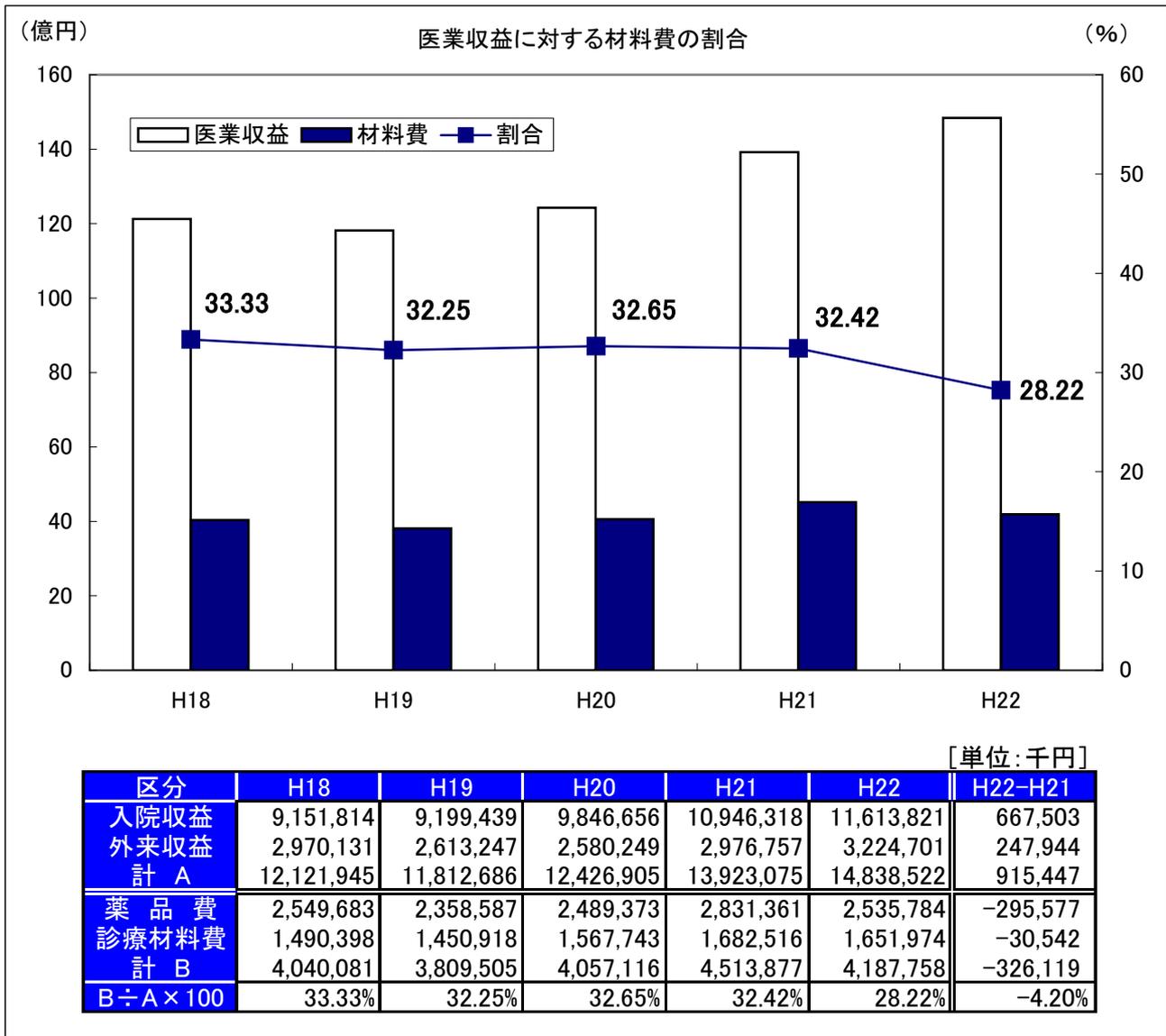


3 材料費の削減

薬品、診療材料の購入単価の引き下げや使用方法の見直し、ジェネリック医薬品の積極採用などを進め材料費の削減に取り組んでいます。

函館病院の22年度実績は、医業収益(入院・外来収益)が対21年度915,447千円増収している一方で、薬品費と診療材料費を合わせた材料費は4,187,758千円で21年度に対し326,119千円の減となっています。医業収益に対する材料費の割合は28.22%まで圧縮され、21年度32.42%に対し4.2%の減となっています。

また、ジェネリック医薬品の採用状況は、品目数ベースで22年度47.3%で21年度39.5%に対し7.8%上回っています。



※消費税込みの額で算出しているため6ページの材料費対医業収益比率とは一致しません。

【ジェネリック医薬品の採用状況】

※品目数ベース

ジェネリック医薬品採用数÷使用薬品の内ジェネリック医薬品がある薬品数×100

H21.3月末現在
31.3%



H22.3月末現在
39.5%



H23.3月末現在
47.3%

4 未収金の縮減

函館病院では、未収金対策として、特に新規滞納を発生させないための取り組みとして、19年度から入院時説明コーナーの開設や夜間救急の即日徴収、休日退院の事前精算等の実施、納付相談の強化などを行っており、20年度にはクレジットカード納付の導入、22年度は10月からコンビニ納付を導入し、23年3月までに649件の納付実績がありました。また、未納者に対しては、内容証明郵便の送付(H22:35件)や支払督促申し立て(H22:13件)を行っていますが、未だ4億円を超える未収金があります。

函館病院の22年度の未収額は、417,713千円で21年度501,864千円に対し84,151千円の減となっています。また、そのうち回収不能な未収金61,066千円については不納欠損処分を行いました。

恵山病院の22年度の未収額は、3,820千円で21年度5,078千円に対し1,258千円の減となっています。また、そのうち回収不能な未収金872千円については不納欠損処分を行いました。

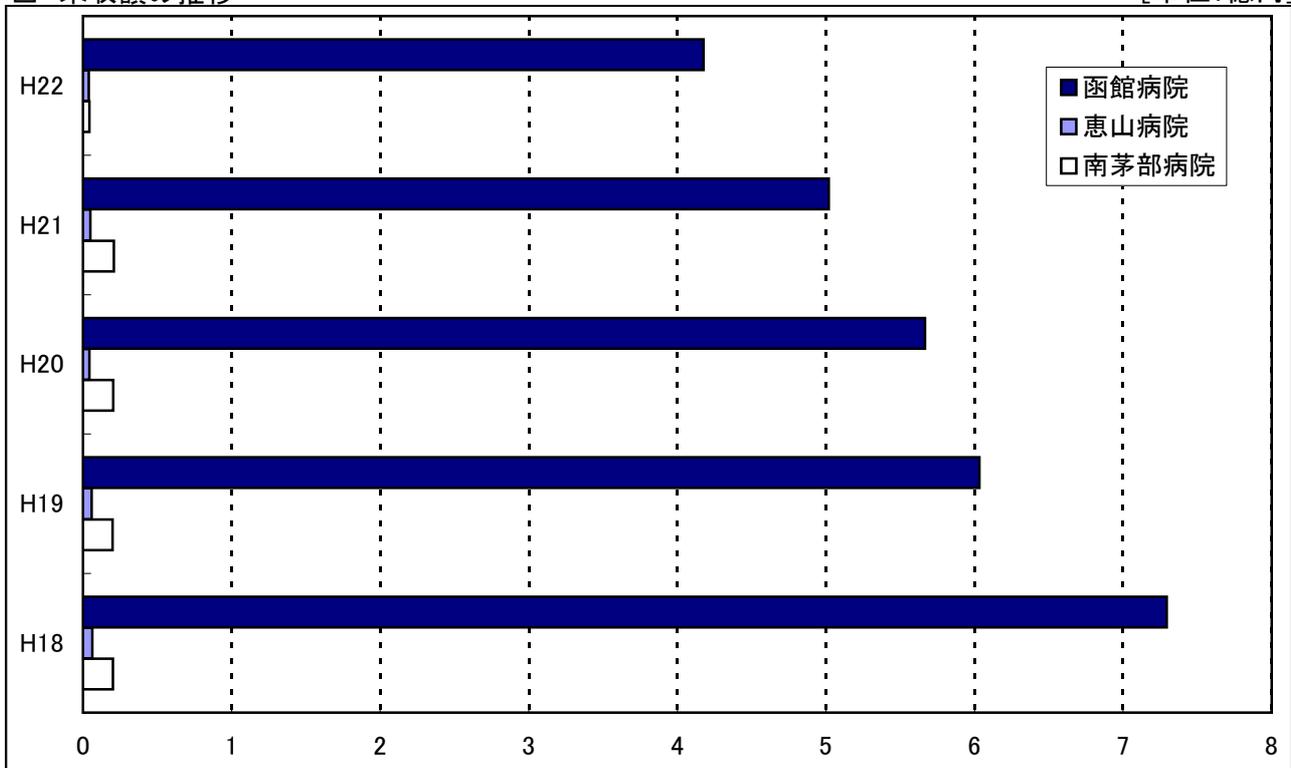
南茅部病院の22年度の未収額は、4,252千円で21年度20,847千円に対し16,595千円の減となっています。また、そのうち回収不能な未収金16,821千円については不納欠損処分を行いました。

[単位:千円]

区分	H18	H19	H20	H21	H22
函館病院	729,314	603,372	566,798	501,864	417,713
恵山病院	6,278	5,891	4,286	5,078	3,820
南茅部病院	20,211	19,900	20,334	20,847	4,252
3病院合計	755,803	629,163	591,418	527,789	425,785

□ 未収額の推移

[単位:億円]



Ⅲ. 改革プラン収支計画との比較

1 平成22年度収支計画と実績の比較

① 函館病院

平成23年2月に改訂した改革プラン収支計画と22年度実績(決算見込)の比較は下記のとおりとなっています。当年度財源過不足額では、実績が計画を5億3,365万4千円上回っています。

□ 医業収益の内訳

区分			H22収支計画A	H22決算見込B	差引B-A	備考
入院	一般	患者数(1日平均)	482.7	491.9	9.2	単位:人
		収益(1人1日平均)	61,901.0	62,628.8	727.8	単位:円
	精神	患者数(1日平均)	65.2	67.5	2.3	単位:人
		収益(1人1日平均)	14,722.4	15,012.5	290.1	単位:円
外来	一般	患者数(1日平均)	1,116.6	1,132.9	16.3	単位:人
		収益(1人1日平均)	11,410.7	11,341.8	△ 68.9	単位:円
	精神	患者数(1日平均)	83.3	85.1	1.8	単位:人
		収益(1人1日平均)	4,348.0	4,308.7	△ 39.3	単位:円

□ 収支計画と決算見込の比較(税込み)

(単位:千円)

科目			H22収支計画A	H22決算見込B	差引B-A	差引の主な要因
収益	医業収益	入院収益	11,256,696	11,613,821	357,125	患者数, 診療単価の増
		外来収益	3,197,225	3,224,701	27,476	患者数の増
		その他	202,356	209,451	7,095	
	医業外収益ほか		2,019,275	2,021,045	1,770	
	計		16,675,552	17,069,018	393,466	
費用	医業費用	給与費	7,604,296	7,436,957	△ 167,339	退職給与金の減
		材料費	4,206,679	4,325,655	118,976	薬品費の増
		経費	2,600,352	2,580,940	△ 19,412	
		その他	1,418,949	1,380,776	△ 38,173	
	医業外費用ほか		822,861	805,133	△ 17,728	
計		16,653,137	16,529,461	△ 123,676		
収益－費用			22,415	539,557	517,142	
資本的収入			859,694	861,876	2,182	
資本的支出			1,438,824	1,437,903	△ 921	
資本的収支差引			△ 579,130	△ 576,027	3,103	
損益勘定留保資金			1,426,726	1,440,135	13,409	
当年度財源過不足額			870,011	1,403,665	533,654	

② 恵山病院

平成23年2月に改訂した改革プラン収支計画と22年度実績(決算見込)の比較は下記のとおりとなっています。当年度財源過不足額では、実績が計画を1,929万1千円上回っています。

□ 医業収益の内訳

区 分			H22収支計画A	H22決算見込B	差引B-A	備 考
入院	療養	患者数(1日平均)	54.3	53.6	△ 0.7	単位:人
		収益(1人1日平均)	21,133.9	21,682.1	548.2	単位:円
外来	一般	患者数(1日平均)	83.9	85.6	1.7	単位:人
		収益(1人1日平均)	4,760.3	4,671.0	△ 89.3	単位:円

□ 収支計画と決算見込の比較(税込み)

(単位:千円)

科 目			H22収支計画A	H22決算見込B	差引B-A	差引の主な要因
収益	医業収益	入院収益	418,873	424,449	5,576	診療単価の増
		外来収益	97,067	97,110	43	
		その他	9,012	11,161	2,149	
	医業外収益ほか		156,463	156,488	25	
	計		681,415	689,208	7,793	
費用	医業費用	給与費	481,942	478,057	△ 3,885	薬品費の増 委託料の減
		材料費	68,207	75,213	7,006	
		経費	123,088	111,884	△ 11,204	
		その他	59,405	58,229	△ 1,176	
	医業外費用ほか		21,307	18,960	△ 2,347	
計		753,949	742,343	△ 11,606		
収益－費用			△ 72,534	△ 53,135	19,399	
資本的収入			73,234	73,233	△ 1	
資本的支出			107,192	107,192	0	
資本的収支差引			△ 33,958	△ 33,959	△ 1	
損益勘定留保資金			60,876	60,769	△ 107	
当年度財源過不足額			△ 45,616	△ 26,325	19,291	

③ 南茅部病院

平成23年2月に改訂した改革プラン収支計画と22年度実績(決算見込)の比較は下記のとおりとなっています。当年度財源過不足額では、実績が計画を773万3千円上回っています。

□ 医業収益の内訳

区分			H22収支計画A	H22決算見込B	差引B-A	備考
入院	一般	患者数(1日平均)	29.7	31.6	1.9	単位:人
		収益(1人1日平均)	21,340.6	21,900.9	560.3	単位:円
外来	一般	患者数(1日平均)	116.7	119.4	2.7	単位:人
		収益(1人1日平均)	4,680.3	4,640.3	△ 40.0	単位:円

□ 収支計画と決算見込の比較(税込み)

(単位:千円)

区分			H22収支計画A	H22決算見込B	差引B-A	差引の主な要因
収益	医業収益	入院収益	231,524	252,298	20,774	患者数, 診療単価の増
		外来収益	132,738	134,667	1,929	
		その他	8,270	10,146	1,876	
	医業外収益ほか		140,764	140,694	△ 70	
	計		513,296	537,805	24,509	
費用	医業費用	給与費	357,376	356,212	△ 1,164	薬品費の増
		材料費	75,396	82,731	7,335	
		経費	125,282	123,013	△ 2,269	
		その他	26,224	25,656	△ 568	
	医業外費用ほか		16,351	29,673	13,322	
計		600,629	617,285	16,656		
収益－費用			△ 87,333	△ 79,480	7,853	
資本的収入			11,817	11,817	0	
資本的支出			19,632	19,632	0	
資本的収支差引			△ 7,815	△ 7,815	0	
損益勘定留保資金			23,959	23,839	△ 120	
当年度財源過不足額			△ 71,189	△ 63,456	7,733	

④ 3病院合計

3病院を合計した病院事業全体では、実績が計画を5億6,067万8千円上回っています。

□ 収支計画と決算見込の比較

(単位:千円)

区分	H22収支計画A	H22決算見込B	差引B-A	備考
当年度財源過不足額	753,206	1,313,884	560,678	

2 累積不良債務の解消

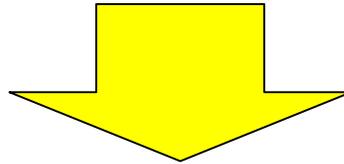
改革プラン収支計画は、平成26年度末に累積財源不足額を解消し、27年度末には特例債の未償還残高を加えた累積不良債務を解消する計画です。

また、不良債務比率が10%未満となる25年度の翌年26年度から、医療器械等更新のための企業債発行が可能となることを見込んでいます。

■改革プラン収支計画（H23.2月改訂）

（単位：百万円）

区分	H21実績	H22計画	H23計画	H24計画	H25計画	H26計画	H27計画
函館病院(単年度財源過不足額)	△ 250	870	923	521	667	314	261
恵山病院(単年度財源過不足額)	11	△ 45	8	△ 49	9	△ 30	△ 28
南茅部病院(単年度財源過不足額)	△ 45	△ 71	△ 71	△ 34	△ 86	△ 170	△ 149
計	△ 284	754	860	438	590	114	84
累積財源過不足額	△ 2,456	△ 1,702	△ 842	△ 404	△ 114	0	84
〃 [特例債含む]	△ 5,382	△ 4,628	△ 3,183	△ 2,160	△ 1,285	△ 585	84
不良債務比率(%)	35.0	29.2	19.8	13.4	8.0	3.6	△ 0.5
一般会計繰入金(3病院計)	2,689	2,953	3,642	3,296	3,159	3,077	3,006
特例債残高(〃)	2,926	2,926	2,341	1,756	1,171	586	0
長期借入金残高(〃)	300	300	300	300	0	0	0



上記、収支計画のうち22年度計画を実績(決算見込)に置き換え、23年度以降を計画値で見込んだ場合、累積財源過不足額の解消は24年度、累積不良債務の解消は27年度、不良債務比率10%未満達成は24年度で企業債発行は25年度から可能となります。

なお、23年度計画は860百万円(単年度財源過不足額)ですが、当初予算は660百万円で計上しています。この差200百万円については、病院事業経営健全化分として21年度から措置され毎年度収支計画に見込んでいる一般会計繰入金200百万円が当初予算に未計上であることによるものです。

■試算(H22計画754→実績1,314百万円)

（単位：百万円）

区分	H21実績	H22実績	H23計画	H24計画	H25計画	H26計画	H27計画
函館病院(単年度財源過不足額)	△ 250	1,403	923	521	667	314	261
恵山病院(単年度財源過不足額)	11	△ 26	8	△ 49	9	△ 30	△ 28
南茅部病院(単年度財源過不足額)	△ 45	△ 63	△ 71	△ 34	△ 86	△ 170	△ 149
計	△ 284	1,314	※ 860	438	590	114	84
累積財源過不足額	△ 2,456	△ 1,142	△ 282	156	446	560	644
〃 [特例債含む]	△ 5,382	△ 4,068	△ 2,623	△ 1,600	△ 725	△ 25	644
不良債務比率(%)	35.0	24.9	16.3	9.9	4.5	0.1	△ 4.0